

井原市公共交通会議（令和元年度第4回）議事録

と き 令和2年2月20日（木）

10：00～11：30

ところ 井原市役所5階 501・502会議室

1. 開 会

会議の成立を報告

- ・ 出席者 委員 24名中 22名（実出席 22名）

2. 猪原会長あいさつ

3. 報 告

- ・ 前回会議概要を事務局より説明

1) 井原市地域公共交通網形成計画の実施状況について

- ・ 事務局説明

（猪原会長） 委員の皆様からご質問等はないか。

（委員） 交通結節点における交流スペースの利用回数が大きく増加しているが、どのような利用が多いのか教えてもらいたい。

（事務局） 井原駅についてはデニム関連のイベントで使用されるケースが多い。また、井原バスセンターの利用回数が増えている要因としては小学生の勉強教室（公文）での利用が半数以上を占めている。

（委員） 利用してもらって地域の方にスペースを認識してもらうのが大事である。種類がもう少し増えても良いと思うので、どんどん活用してもらえるようにPRしてもらいたい。

（委員） 説明会の開催などを公共交通かわら版でPRしてもらえれば、参加者以外にも関心を持って来てもらえるかもしれない。

（事務局） 周知していきたいと思う。例年と同じような案件がなく、どうしようかと思っていたが、介護保険課の事業に参加してアピールできて、新たな取り組みができて良かったと思っている。

（委員） 芳井の説明会に参加したが、各地区でのちょっとした説明会は良かった。公共交通が利用しないと今は良いが今後は困るということをわずかな時間でもPRして、公共交通を持続できる方向にもっていったらと思った。公共交通かわら版も大切だが、対面での説明会が重要だと思う。

（事務局） これからも続けていきたいと思う。

（委員） 普段と違う視点で行われているイベントに参加してどんどんPRしてもらいたい。公共交通かわら版も定期的に発行してもらっているが、SNSやケーブルテレビなど情報をたくさん伝える方法は他にもいろいろあると思う。

目標値が年3回だったら年3回しかしないなど目標値以上はしないのは何

とかならないのかと思う。

(事務局) 今回、いろんな場所に出向いたことは反響もあったので、回数を増やしていきたいと思う。

2) 市民アンケート調査結果について

・ 事務局説明

(猪原会長) 委員の皆様からご質問等はないか。

(委員) 様々な回答者がいると思うが、公共交通かわら版を知らないと回答した方が半数いることや、公共交通マップを配布されても使ったことがない人が多いことに驚いた。発行すれば多くの人見てくれるというわけではないと思うので、様々な場を活用して地域の人と対面して説明することが必要である。特に高齢者は、バスの乗り方や時刻表の見方がわからない人もいるので、わかりやすく具体的に教えてあげてほしい。

(事務局) アンケート結果でもわかるように、今までと同じことを進めても意味がないため、紙面や対面での説明、スマホの活用等、様々な手段で情報を伝えないといけないと痛感している。

(委員) 井原あいあいバスの運賃を値上げしても、ほとんどの方が利用するという結果が出ているのに対し、満足度の分析で運賃は重点維持という結果が出ているのが理解できない。積極的に値上げする代わりにサービス向上に努めれば良いと思うが、なぜ運賃は重点改善に入っていないのか。

(事務局) 総合的な満足度に影響している要素について、井原あいあいバスに限定したのではなく、路線バス等も含まれているのでこのような結果になったのではないかと思う。

(委員) 資料 16 頁では、井原あいあいバスのサービスが向上するなら値段を上げてもよいということが示してある。一方で、資料 22 頁では、運行間隔や運行本数等、公共交通のサービスレベルに関係するものが重要度は高いが満足度が低い項目に位置しており、提供している公共交通のサービスのレベルを上げるため、運賃の値上げや、市の予算をかけて、何とかしてほしいということが示してある。運賃が安いことについては、重要で満足しているため重点維持になっているが、その他の公共交通サービスの質には満足していないということではないか。

(猪原会長) 発言を踏まえ事務局で分析を進めてもらいたい。

(委員) 予約型乗合タクシーについて、以前も発言したが結節点や停留所まで歩いて行くのが大変なので、エリアから結節点までのルートで途中乗車ができれば利用の頻度が上がるのではないかと思う。車両の乗車定員もあると思うが、予約型乗合タクシーのエリアから外れている人も範囲内であれば乗車できるよう、大きな視野で検討してほしい。そうすれば、頻度だけではなく利用者自体も増えるのではないかと思う。

(事務局) 高齢者が増加していく中で、将来的にはドアツードア型の輸送が主流にな

るのではないかと考えている。現在の予約型乗合タクシーの運行エリアは公共交通空白地域のみであるため、今後は交通事業者と協議し、予約型乗合タクシーの範囲の拡大を積極的に検討していきたい。

(委員) 予約型乗合タクシーの利用経験が非常に低いが、そもそもサービスが提供されている地区が非常に少ないので、居住地区によっては認知されていなくても当たり前である。今後はサービスが提供されている地区の認知度の分析や提供されている地区の人口を見ての分析等も進めてほしい。

4. 協 議

1) 運行見直し基準に基づく路線・ダイヤの見直しについて

- ・ 事務局説明

質疑なし

(猪原会長) 質問等が無ければ、原案のとおり承認してよいか。

【協議事項承認】

2) 自家用有償運送（芳井・美星）における運行経路等の変更について

- ・ 事務局説明

質疑なし

(猪原会長) 質問等が無ければ、原案のとおり承認してよいか。

【協議事項承認】

3) 令和元年度井原市公共交通会議補正予算（案）

- ・ 事務局説明

質疑なし

(猪原会長) 質問等が無ければ、原案のとおり承認してよいか。

【協議事項承認】

5. その他

(事務局) 次回会議は4月中旬から下旬を予定している。委員の任期は3月末までだが、4月以降も引き続き協力をお願いしたい。

(仁科副会長) 本日はアンケート結果が出ているが、バスやタクシーに対して厳しい結果が出ている。皆さん方もこの結果を踏まえてあらゆる会合の中でいろいろ意見を出し協議し、向上できるようよろしくをお願いしたい。

閉 会

以上